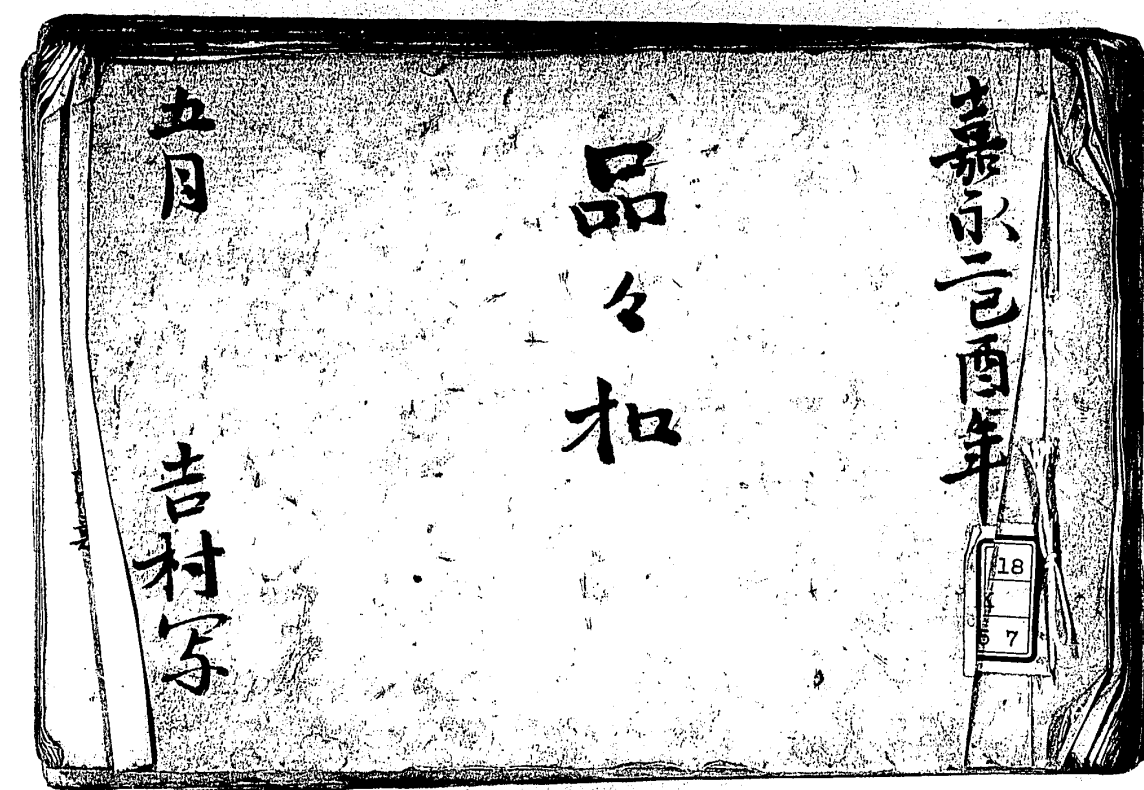
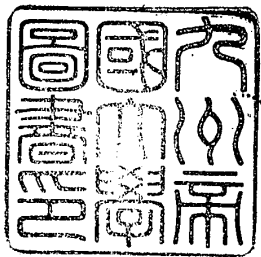


文書名	品々扣 No.
所蔵者 住所・氏名	九州大学法学部
撮影年月日	昭和56年 7月 17日
福岡県文化会館	





目錄

市取箇庫々	市郡中惣村數
直納割合	在方市救作食費
市田地住分々	種穀升目
市減放市減免之差別	半知歩渡
六歩一高	市役料金
市側物販初年市振替	市役知
市易主所押	叔主依持主高
検見下皆無引	市之
市免之	旅役市家行
市例市定市定市定市定	藝術市先例
市役方振替分	先例書字
市呈輕路銀其外市舟帆數	

市廻米白米歩割

其秋大豆出產多
米年より多し

市領中地方

市領中米より内
市領中米より出

銀手形一系

人別小間掛前掛

御手傳

御膳米高

差上金割合

●市取箇庫

一三拾八万俵

市廻白米を不
夏秋大豆九

但米年より大豆出產多し
市取箇庫より右三拾八万俵

一千六百俵

下代市米

但米年より大豆出產多し
市取箇庫より右一千六百俵

一七万五千俵

市納代米市積高

但米年より大豆出產多し
市取箇庫より右一七万五千俵

一廿万出積高

市納銀

但市積高より市取箇庫より右一廿万出積高

女系稱號皇位中出稱呼云々云々

一物種重同

但所接面云々

小物種云々
運上銀

一百多粒重同

此品運上銀云々
張云々

但所接面云々云々
減云々

右云々云々

一市家中山海方現米中乃用云々

核五方九千三百七粒倍云々

但所國中入用所接面云々
米云々
核五方九千三百七粒倍云々
右云々

五方八千三百七粒倍云々
核五方九千三百七粒倍云々

一夏大豆出產云々
核五方九千三百七粒倍云々

一西万中子倍云々

内

百倍種

但所國中入用所接面云々
核五方九千三百七粒倍云々

三百七十倍種

但所國中入用所接面云々

四百七十倍種

核五方九千三百七粒倍云々

以內云々
年核五方九千三百七粒倍云々

一秋大豆出產云々

地よりなる之極希他より代り納
て保甲申年極く小代納納と雖も
列氏同意納る所抑立代納納と
三萬石の
一三萬石の保より三萬石の保納

但納納と納納と

内
千石三萬石納納 申入用納納
但納納と納納と申入用納納と
納納と納納と

三萬石納納 右同納納

但納納と納納と申入用納納と
納納と納納と

五萬石納

但納納と納納と申入用納納と
納納と納納と

五萬石納

比年納納と納納と

一年、五萬石納納と納納と

一大臣代納

但納納と納納と申入用納納と
納納と納納と

丁保七申年納納と納納と
納納と納納と

一山中納納

一散田

一市街

此外納納と納納と申入用納納と
納納と納納と

一江戸市納納

一市街納納

一市街納納と納納と申入用納納と
納納と納納と

月納納

五萬石納納と納納と

凡在方派并抄割紙書門院別官力致
并一式

内

千八百五十四

出納帳より傷更便名銀小入金力派
中化年方入用共在方並傳入用件木
右に品々當子十月分來五九月止派錢件
本も後命よりと書添りる此も派米積子
次第に上事、自今より郡方より派納更
但は内へ三三として書添りる
少るに、此の帳内所屬方より二馬更

残る

千八百五十四

内

千四百五十四

右の帳内御方入用共村方入用一式有
略る此の位に之の帳内

凡
千八百五十四

は、下り、帳より、此の帳内、千八百五十四
三三

九月十八日

一千八百五十四

内

三百五十四

残る

千八百五十四

右の帳内、御方、千四百五十四、千七百五十四、
割、後、右、千、千、千、千、千、千、千、千、
九、九、九、九、九、九、九、九、

右より

三百五十四、千八百五十四、上三郡

三百五十四、千八百五十四、兩郡

三百五十四、千八百五十四、上下三郡

四百九十九百九十九 三三三
 在銀子刻有金字者年推見誠不
 以之為證。後高以刻有金字者為
 其年全林尚未免其極高之信也上
 刻有金年

在方市納銀者年分主法者故子百
 其同之信刻有金字者年推見誠不
 目前之納金百其目推見誠不
 其年全林尚未免其極高之信也上
 刻有金年

未
 十月十八日

●在方市救他食當り

一市救

吉人月弟吉人

二第ア下除四第ハ十四第近三第

已上ハ不具病身ハ年終ハ不拍

一他食

吉人月 男 女 合

傷ハ年終ハ不拍

一多段十一子 在方ハ不具病身

即子百俵

水下ハ不具病身

三子俵

吉印出極枯村

子計百俵俵

吉印出極枯村

百六拾俵

吉印出極枯村

石久保

丑春

七子係

巾被

六子係

作舎

七子係

社家山伏巾被

喜海

● 享保十七年
伊田地方位分略

伊田水帳面出来

伊田水帳面出来

伊田水帳面出来

伊田水帳面出来

一山中田子と秋五万係来

伊田水帳面出来

伊田水帳面出来

伊田水帳面出来

伊田水帳面出来

伊田水帳面出来

伊田水帳面出来

伊田水帳面出来

伊田水帳面出来

伊田水帳面出来

伊田水帳面出来

伊田水帳面出来

伊田水帳面出来

●種初府身并目

凡そあ付る事
の事也

●市減勘定

作付る減

一市減免を依新減

一川高を九厘に過

千石并

百九十九石

百石并

九十九石

此等角に依り割

減千五百石目とて千石に役換り
割

●

歩高より市減勘定、市居元来より
候事分厚

半知、仍物成地地接免印
藏年氏

一七歩石

旅役

沙百九十九石并百九十九石

百石并

七石并

百九十九石并百九十九石

七石并

百石

七石并

一五歩

地居日新役
役出番年氏

百石并

七石并

百石并

七石并

百石

七石并

一五歩

初少長病

九柱石以下巾藏半并巾破蓋
巾扶持方

一八歩

襦後

一五歩五厘

却少長病

一七歩

地指日初為役
此指為多修天

一百五拾五上
一歩蓋

三柱人持持

一百五拾五下
一歩蓋

拾五人持持
拾人持持也

一九歩

七人持持
持持と日初多役
持持多天

一八歩

左日年役初少
長病

一九歩

四人持持
四人持持下

年終巾破蓋

五石五斗以上

一八歩五厘

日初

一八歩五厘

此蓋宅節

五石五斗以下四石迄

一八歩七厘

日初

一八歩五厘

此蓋宅節

三石七斗以下二石迄

一九歩三厘

日初

一九歩三厘

此蓋宅節

沙石五斗以下

一九歩五厘

日初

讀者室

右白木持尊

一九步

佛接拈方斗云
吾乃七人拈指是

一全

膏

一九四三年

而持持方由証者
与持持方由証者
持持方由証者

一全

右同男持持以下

施役

一全不努力

六步知行物成終地持久而藏

一歩を全

施放

一步一登

日新

一六步 動坐

有級能者

一六步、

義役

一土知土屋

却少長病

仙百粒石沙金

百之獲石年乃成信

付线

石名と云

江戸上方定在、西白丸鞍石、月下、吳淞、昨、出所
杉材方り、初く、玉手、方方、去家、二年、歩南、
土屋、増々、古藤、舟山、能高、忙々、南々、上々、方
洞、人、級、人、中、り、て、今、海、に、事奉
文化四年年十月十七日、作、激

為同年也、安家
系圖と作想を以

九按石下少氣果矣內証而熱證

一九步

張氏

一八步

目録

一八歩五厘

方級修馬車
海丸

一七歩五厘

知事長官

一六歩五厘以上一歩五厘

三控人控持

一四歩五厘以上一歩五厘

助知人控持

一三歩五厘以下一歩五厘

控知人控持
於人控持也

一九歩五厘

七人控持分
控持也日知
役法也

一八歩五厘

右等級長官
知事

一九歩五厘

四人控持
知事

寺社公署附

一九歩

控知人

一八歩五厘

九石九斗以下

多給所附

一八歩五厘以上

一八歩五厘

日知

一八歩五厘

控知人

一八歩五厘以下四厘

一九歩

日知

一八歩五厘

控知人

一八歩五厘以下三厘

一九歩五厘

日知

一九歩五厘

控知人

一八歩五厘以下

一九歩五厘

日知

一九五五年

張家宅前

在園市拉持方

一合系勢

西門人拉持

一九五五年

拉持方以於苗
每種各取六人
拉持以上

一合系勢

在日田人拉持方

拉拔

一合系勢

步當之方拉拔之現即人用高

每年之而即之方大九之

一拉四万七千九百九拾五石 另有各處之

但步當之方相取以入用之除之

一拉四万三千八百拾五石 另有各處之

但步當之方相取以入用之除之

另有

步當之方九百九拾五石

富市拉持

自六千八百七拾五石至二千八百

七拾五石之方相取以入用之除之

步當之方拉持人然人各在步當之方

方在屋座山依之而用之而中人

除之

一拉四万七千九百九拾五石

另有各處之

但步當之方相取以入用之除之

● 御役料方定分

一金動搖五兩

千石以下惣金
以兩算之

一月高

千石以下惣金
以兩算之

一月高

千石以下惣金
以兩算之

一月三十兩

千石以下惣金
以兩算之

一月拾五兩

江戸より廿五

千石以下惣金
以兩算之

一月拾兩

江戸より廿五

千石以下惣金
以兩算之

一月拾兩

千石以下惣金
以兩算之

一月拾兩

千石以下惣金
以兩算之

一月拾五兩

千石以下惣金
以兩算之

一月拾兩

千石以下惣金
以兩算之

一銀五兩

千石以下惣金
以兩算之

江戸より廿五

一月三十兩

千石以下惣金
以兩算之

一月三十兩

千石以下惣金
以兩算之

一月三十兩

千石以下惣金
以兩算之

一月三十兩

千石以下惣金
以兩算之

一月三十兩

千石以下惣金
以兩算之

一、日百目

百五拾六、百五拾七、百五拾八、百五拾九、百六十

一、日百五拾目

百五拾九、百六十、百六十一、百六十二、百六十三

但、白江千五、百五拾二、百五拾三

一、日拾枚

百五拾四、百五拾五、百五拾六、百五拾七、百五拾八

但、佐々木半子、拾五、拾六、拾七、拾八、拾九、百目

一、日三、百目

日拾五、拾六、拾七、拾八、拾九、百目

一、日拾枚

日拾五、拾六、拾七、拾八、拾九、百目

但、佐々木半子、拾五、拾六、拾七、拾八、拾九、百目



中、制、物、作、月、物、目、物、入、も、百、目

越、月、今、年、中、出、振、者

一、張、百、目、目

百五拾六、百五拾七、百五拾八、百五拾九、百六十

一、日、百、目

百五拾六、百五拾七、百五拾八、百五拾九、百六十

但、佐々木半子、拾五、拾六、拾七、拾八、拾九、百目

但、佐々木半子、拾五、拾六、拾七、拾八、拾九、百目

一、張、百、目、目

百五拾六、百五拾七、百五拾八、百五拾九、百六十

一、日、三、百、目

百五拾六、百五拾七、百五拾八、百五拾九、百六十

但、佐々木半子、拾五、拾六、拾七、拾八、拾九、百目

一、日、百、目、目

百五拾六、百五拾七、百五拾八、百五拾九、百六十

但、佐々木半子、拾五、拾六、拾七、拾八、拾九、百目

一、日、三、百、目

百五拾六、百五拾七、百五拾八、百五拾九、百六十

但、佐々木半子、拾五、拾六、拾七、拾八、拾九、百目

● 市役知

一百廿五石

一百廿五石

一百廿五石

新田庄所用
多田庄所用
不修田庄

口九甲
田庄所用
不修田庄

田庄所用
不修田庄

● 市易

一割令九俵上元

一割令九俵上元

● 新田庄所用

田庄所用
不修田庄

● 検見

田庄所用
不修田庄

● 天保三年

公田

田庄所用
不修田庄

五百羅言村

内

高計格五万五千五百羅言石九斗五升
洋領云々

四

千八百羅言石九斗五升
本社領

高計格五万五千五百羅言石九斗五升
新田直田

高計格五万五千五百羅言石九斗五升

●市物成米大豆御免合高

- 享徳十五年
一三拾五万五千三百五拾石俵五斗五升五合
- 同十六年
一三拾四万三千七百五拾石俵五斗三升五合
- 同十七年
一八万三千七百五拾石俵五斗八升五合
- 同十八年
一三拾七万三千五百九拾石俵五斗四升五合
- 同十九年
一三拾五万五千九百八拾七石俵五斗四升五合
- 同二十年
一三拾二万五千九百八拾七石俵五斗四升五合
- 同二十一年
一四拾万五千三百七拾石俵五斗四升五合
- 同二十二年
一三拾九万九千九百八拾七石俵五斗四升五合
- 同二十三年
一四拾万八千三百七拾石俵五斗四升五合
- 同二十四年
一四拾万八千三百七拾石俵五斗四升五合
- 同二十五年
一四拾万八千三百七拾石俵五斗四升五合
- 同二十六年
一四拾万八千三百七拾石俵五斗四升五合
- 同二十七年
一四拾万八千三百七拾石俵五斗四升五合
- 同二十八年
一四拾万八千三百七拾石俵五斗四升五合
- 同二十九年
一四拾万八千三百七拾石俵五斗四升五合
- 同三十年
一四拾万八千三百七拾石俵五斗四升五合

日三午年
一三拾六万九千五百九十九係九升三合六勺
日四未年
一三拾三万九千五百九十九係九升七合四勺
日五申年
一三拾九万七千五百九十九係八升三合六勺
日六酉年
一三拾三万八千六百九十九係九升六合三勺
日七戌年
一三拾九万九千四百九十九係八升七合六勺
日八亥年
一三拾五万八千四百九十九係八升四合七勺
日九子年
一三拾六万九千五百九十九係九升五合
日十丑年
一三拾九万五千六百九十九係九升七合六勺
日十一寅年
一三拾七万二千四百九十九係八升四合六勺
日十二卯年
一三拾九万四千五百九十九係九升四合六勺
日十三辰年
一三拾九万八千六百九十九係九升四合六勺
日十四巳年
一三拾九万三千五百九十九係九升七合六勺
日十五午年
一三拾五万五千八百七十九係九升三合五勺
日十六未年
一三拾五万九千九百七十九係九升三合六勺
日十七申年
一三拾六万九千五百九十九係九升七合六勺
日十八酉年
一三拾九万七千五百九十九係八升三合六勺
日十九戌年
一三拾三万八千六百九十九係九升六合三勺
日二十亥年
一三拾九万九千四百九十九係八升七合六勺
日二十一子年
一三拾五万八千四百九十九係八升四合七勺
日二十二丑年
一三拾六万九千五百九十九係九升五合
日二十三寅年
一三拾九万五千六百九十九係九升七合六勺
日二十四卯年
一三拾七万二千四百九十九係八升四合六勺
日二十五辰年
一三拾九万四千五百九十九係九升四合六勺
日二十六巳年
一三拾九万八千六百九十九係九升四合六勺
日二十七午年
一三拾五万五千八百七十九係九升三合五勺
日二十八未年
一三拾五万九千九百七十九係九升三合六勺
日二十九申年
一三拾六万九千五百九十九係九升七合六勺
日三十酉年
一三拾九万七千五百九十九係八升三合六勺

● 旗役御宛行

市家老中

一 松五平目

但書方格書了

銀

一 吉平沙百四格目

但大里路へて修成四年石南

同

似五平格格代格

一 吉平八格

但書方格三之個格四十石

大豆

同立保

一 部格目

但書方格三之二

銀

一 吉平沙百四格目

但大里路へて修成

同

但乃中枝移代法

市家老服

一拾五金百五拾兩

但若乃法也

銀

一七百兩

但乃中枝移代法

但乃中枝移代法

一五金百兩

但乃中枝移代法

大豆

一市家老服
但乃中枝移代法
正月

市家老服並

一七金百兩

但乃中枝移代法

法

一三百兩

但乃中枝移代法

但乃中枝移代法

一五金百兩

大豆

但乃中枝移代法

市家老服

一五金百兩

銀

但乃中枝移代法

一三百兩

但乃中枝移代法

從在末後時代

一七五

但此等之例亦多有之
大旨

因立傳

一八五
但此等之例亦多有之

一七五
但此等之例亦多有之

日

一七五

但此等之例亦多有之

但此等之例亦多有之

但此等之例亦多有之

一七五
但此等之例亦多有之

一七五

但此等之例亦多有之

日

一七五

但此等之例亦多有之

一七五

但此等之例亦多有之

一七五

但此等之例亦多有之

因立傳

一七五

但此等之例亦多有之

一七五

但此等之例亦多有之

日

一七五

但此等之例亦多有之

但此等之例亦多有之

但手紙に書きたる

一、四百四十

但手紙に書きたる但手紙に書きたる但手紙に書きたる

但手紙に書きたる

大正七年七月、山形、秋田、岩手、青森、山梨、長野、新潟、富山、石川、福井、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、徳島、高松、香川、岡山、広島、山口、福岡、佐賀、大分、熊本、鹿児島、沖縄、

同立派

一、四百七十五

但手紙に書きたる

一、五百

但手紙に書きたる

一、二百七十五

但手紙に書きたる

但手紙に書きたる

三、四百

諸君

一、四百七十五

但手紙に書きたる

一、三百七十五

但手紙に書きたる

一、四百

但手紙に書きたる

一、四百七十五

但手紙に書きたる

一、四百七十五

但手紙に書きたる

一、四百七十五

但手紙に書きたる

但手紙に書きたる

一、四百七十五

同立派

一 主多六百... 法

一 二百七拾... 月

一 九拾... 月

一 但乃中... 月

一 一... 月

一 市... 月

一 一... 月

一 一... 月

一 一... 月

一 一... 月

一 一... 月

一 一... 月

一 一... 月

一 一... 月

一 一... 月

一 一... 月

一 一... 月

平組多属大

一、九百八十号、
但、其、方、法、は、
不、明、な、り、
日

一、九百八十号、
但、其、方、法、は、
不、明、な、り、
日

一、九百八十号、
但、其、方、法、は、
不、明、な、り、
日

但、其、方、法、は、
不、明、な、り、
日

一、九百八十号、
但、其、方、法、は、
不、明、な、り、
日

日、立、降、

一、九百八十号、
但、其、方、法、は、
不、明、な、り、
日

一、九百八十号、
但、其、方、法、は、
不、明、な、り、
日

一、九百八十号、
但、其、方、法、は、
不、明、な、り、
日

但、其、方、法、は、
不、明、な、り、
日

市、醫、師、

一、九百八十号、
但、其、方、法、は、
不、明、な、り、
日

一、九百八十号、
但、其、方、法、は、
不、明、な、り、
日

婦子名簿

一 七百五十八日 法
但 養方 法 百五十八日 ありき

一 七百五十八日 日
但 養方 法 百五十八日 ありき

一 七百五十八日 日
但 養方 法 百五十八日 ありき

一 七百五十八日 日
但 養方 法 百五十八日 ありき

日三席

一 七百五十八日 法
但 養方 法 百五十八日 ありき

一 七百五十八日 日
但 養方 法 百五十八日 ありき

一 七百五十八日 日
但 養方 法 百五十八日 ありき

一 七百五十八日 日
但 養方 法 百五十八日 ありき

高取中法

一 七百五十八日 法
但 養方 法 百五十八日 ありき

一 七百五十八日 日
但 養方 法 百五十八日 ありき

一 七百五十八日 日
但 養方 法 百五十八日 ありき

一 七百五十八日 日
但 養方 法 百五十八日 ありき

一 七百五十八日 日
但 養方 法 百五十八日 ありき

但 養方 法

一 七百五十八日 日
但 養方 法 百五十八日 ありき

日三席

一 五五五五五五五五 銀

一 五五五五五五五五 同

一 五五五五五五五五 同

一 五五五五五五五五 同

一 五五五五五五五五 同

一 五五五五五五五五 同

一 五五五五五五五五 同

一 五五五五五五五五 同

一 五五五五五五五五 同

一 五五五五五五五五 同

一 五五五五五五五五 同

一 五五五五五五五五 同

一 五五五五五五五五 同

一 五五五五五五五五 同

一 五五五五五五五五 同

一 五五五五五五五五 同

一 五五五五五五五五 同

一 五五五五五五五五 同

一 五五五五五五五五 同

一 五五五五五五五五 同

一 五五五五五五五五 同

一、武藏の...
但大里...
上道中...
但寛政...

銀
一、武藏の...
但大里...

日
一、武藏の...
但大里...

一、武藏の...
但大里...

日
一、武藏の...
但大里...

日
一、武藏の...
但大里...

一、武藏の...
但大里...

日
一、武藏の...
但大里...

四百五十兩
一廿百兩
但此を以てする
日

一百兩
但此を以てする
日

二百兩
但此を以てする
日

一廿百兩
但此を以てする
日

一上及中継る
但此を以てする
日

一廿百兩
但此を以てする
日

一廿百兩
但此を以てする
日

一廿百兩
但此を以てする
日

一廿百兩
但此を以てする
日

一廿百兩
但此を以てする
日

一上及中継る
但此を以てする
日

一廿百兩
但此を以てする
日

一廿百兩
但此を以てする
日

一廿百兩
但此を以てする
日

一廿百兩
但此を以てする
日

一廿百兩
但此を以てする
日

一廿百兩
但此を以てする
日

一上迄中 徒るハ少 留場大坂 停

三信
市健生五

三万五
但者ハ少

銀

一廿百
但者ハ少

但者ハ少

一廿百
但者ハ少

一廿百
但者ハ少

一廿百
但者ハ少

銀

一上迄中 徒るハ少 留場大坂 停

三信
市健生五

三万五
但者ハ少

銀

一廿百
但者ハ少

但者ハ少

一廿百
但者ハ少

但者ハ少

一廿百
但者ハ少

一廿百
但者ハ少

但者ハ少

一上迄中 徒るハ少 留場大坂 停

三信
市健生五

一廿百
但者ハ少

銀

一廿百
但者ハ少

但者ハ少

一 此の三つは、
但し、
一 此の三つは、
但し、

一 此の三つは、
但し、

一 此の三つは、
但し、

中附足輕共

一 此の三つは、
但し、

一 此の三つは、
但し、

一 此の三つは、
但し、

一 此の三つは、
但し、

一 此の三つは、
但し、

一 此の三つは、
但し、

同立

一 此の三つは、
但し、

一 此の三つは、
但し、

此の三つは、
但し、

此の三つは、
但し、

此の三つは、
但し、

此の三つは、
但し、

此の三つは、
但し、

此の三つは、
但し、

此の三つは、
但し、

此の三つは、
但し、

此の三つは、
但し、

一 極力、之、之、

大、之、之、之、

一 上、之、之、之、

一 江戸、之、之、之、

一 江戸、之、之、之、

一 極力、之、之、

大、之、之、之、

一 極力、之、之、

大、之、之、之、

一 極力、之、之、

大、之、之、之、

一 極力、之、之、

大、之、之、之、

一 極力、之、之、

大、之、之、之、

一 上、之、之、之、

江戸、之、之、之、

一 江戸、之、之、之、

江戸、之、之、之、

一 江戸、之、之、之、

一 江戸、之、之、之、

江戸、之、之、之、

江戸、之、之、之、

一 極力、之、之、

大、之、之、之、

一 極力、之、之、

大、之、之、之、

一 極力、之、之、

大、之、之、之、

一 極力、之、之、

大、之、之、之、

一百之振子云々

大正三年三月廿四日
大正四年三月廿四日
大正五年三月廿四日
大正六年三月廿四日

一振子云々

大正六年三月廿四日
大正七年三月廿四日
大正八年三月廿四日
大正九年三月廿四日

一振子云々

大正十年三月廿四日
大正十一年三月廿四日
大正十二年三月廿四日
大正十三年三月廿四日

一上野中徳馬云々

一江戶区馬車中一日ハ云々

一読後人云々

印刷所云々

一振子云々

大正十四年三月廿四日

一七振子云々

大正十五年三月廿四日

一四三

大正十六年三月廿四日

一四四

大正十七年三月廿四日

一三九

大正十八年三月廿四日

一上野中徳馬云々

一四五

大正十九年三月廿四日
大正二十年三月廿四日
大正二十一年三月廿四日
大正二十二年三月廿四日
大正二十三年三月廿四日
大正二十四年三月廿四日
大正二十五年三月廿四日
大正二十六年三月廿四日
大正二十七年三月廿四日
大正二十八年三月廿四日
大正二十九年三月廿四日
大正三十年三月廿四日
大正三十一年三月廿四日
大正三十二年三月廿四日
大正三十三年三月廿四日
大正三十四年三月廿四日
大正三十五年三月廿四日
大正三十六年三月廿四日
大正三十七年三月廿四日
大正三十八年三月廿四日
大正三十九年三月廿四日
大正四十年三月廿四日
大正四十一年三月廿四日
大正四十二年三月廿四日
大正四十三年三月廿四日
大正四十四年三月廿四日
大正四十五年三月廿四日
大正四十六年三月廿四日
大正四十七年三月廿四日
大正四十八年三月廿四日
大正四十九年三月廿四日
大正五十年三月廿四日
大正五十一年三月廿四日
大正五十二年三月廿四日
大正五十三年三月廿四日
大正五十四年三月廿四日
大正五十五年三月廿四日
大正五十六年三月廿四日
大正五十七年三月廿四日
大正五十八年三月廿四日
大正五十九年三月廿四日
大正六十年三月廿四日
大正六十年三月十八日

印刷所云々

一振子云々

大正六十一年三月廿四日

一振子云々

大正六十二年三月廿四日

一五五

大正六十三年三月廿四日

一 諸君の文

古くは上平本
後世に及ばず

一 上平本に及ぶ貨法古くは及ばず

一 古くは及ぶ貨法古くは及ばず

日三

一 三格分ふ九本

古くは及ぶ貨法
古くは及ぶ貨法
古くは及ぶ貨法

一 八本分ふ

古くは及ぶ貨法
古くは及ぶ貨法
古くは及ぶ貨法

一 三本分ふ

古くは及ぶ貨法
古くは及ぶ貨法
古くは及ぶ貨法

一 上平本に及ぶ貨法古くは及ばず

一 江戸に及ぶ貨法古くは及ばず
江戸に及ぶ貨法古くは及ばず

一 諸君の文

一 諸君の文

古くは及ぶ貨法

一 諸君の文

古くは及ぶ貨法

一 諸君の文

古くは及ぶ貨法

一 諸君の文

古くは及ぶ貨法
古くは及ぶ貨法
古くは及ぶ貨法

一 諸君の文

古くは及ぶ貨法
古くは及ぶ貨法
古くは及ぶ貨法

一 上平本に及ぶ貨法古くは及ばず

日三

一 諸君の文

一 諸君の文

古くは及ぶ貨法
古くは及ぶ貨法
古くは及ぶ貨法

一 上平本に及ぶ貨法古くは及ばず

一區の中一町、南、陸、三、五、七、九、十、

下町、宇、下、町、宇

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

日、三、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

市、下、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一上天下地了六步集法大極海了

日立取

下高堂下移事口片前書

世尊行中用入

市附下代

一檢上小八分七全

苦方站

一三檢七也也

法左為相依站

一百月

名站

一山百九檢三又

古已路海通
十五師分旅死代

一十九小八分七全

大里路結了二正
銀路結了五分

一上天下地了六步集法大極海了

日立取

一百三檢九分三全

古已路海通
朱路結了四分

一檢小八分

古已路海通
路結了四分

一檢九分六全

大里路結了二正
銀路結了五分

一上天下地了六步集法大極海了

一上天下地了六步集法大極海了

市能信者古極忠古信

一檢九分

苦方站

一百月

名站

一百檢九分

古已路海通

一檢九分

古已路海通

一 土橋目

右目

一 土橋目

土橋目

一 土橋目

土橋目

一 土橋目

土橋目

一 土橋目

土橋目

一 土橋目

土橋目

一 土橋目

土橋目

一 土橋目

土橋目

一 土橋目

土橋目

一 土橋目

土橋目

一 土橋目

土橋目

一 土橋目

土橋目

一 土橋目

土橋目

一 土橋目

土橋目

一 土橋目

土橋目

一 土橋目

土橋目

一 土橋目

土橋目

一 土橋目

土橋目

一 移小八分

二 移小八分

三 移小八分

一 上乃中終了 亦終了 亦終了

一 江中區中 一百八分 亦終了 亦終了

中側三極些尺

一 移小八分

二 移小八分

三 移小八分

一 移小八分

一 移小八分

一 上乃中終了 亦終了 亦終了

大甲 亦終了 亦終了

大甲 亦終了 亦終了

亦終了

亦終了

亦終了

亦終了

亦終了

日之改

一 移小八分

二 移小八分

三 移小八分

一 江中區中 一百八分 亦終了 亦終了

印側三極

一 移小八分

二 移小八分

三 移小八分

一 移小八分

一 移小八分

亦終了

亦終了

亦終了

亦終了

亦終了

一 上段中継りて中継りて大橋あり

同立坂

一 上段中継りて中継りて大橋あり 平日経路

一 上段中継りて中継りて大橋あり 中継り

一 上段中継りて中継りて大橋あり 中継り

一 上段中継りて中継りて大橋あり 中継り

上段中継りて中継りて大橋あり

一 上段中継りて中継りて大橋あり 中継り

一 上段中継りて中継りて大橋あり 中継り

一 上段中継りて中継りて大橋あり 中継り

一 上段中継りて中継りて大橋あり 中継り

一 上段中継りて中継りて大橋あり 中継り

同立坂

一 上段中継りて中継りて大橋あり 中継り

一 上段中継りて中継りて大橋あり 中継り

一 上段中継りて中継りて大橋あり 中継り

一 上段中継りて中継りて大橋あり 中継り

同立坂

同立坂

一 上段中継りて中継りて大橋あり 中継り

一 上段中継りて中継りて大橋あり 中継り

一 上段中継りて中継りて大橋あり 中継り

一 土中修繕了

土中修繕了

一 土中修繕了

同日

一 土中修繕了

平日修繕了

一 土中修繕了

中路修了

一 土中修繕了

中路修了

一 土中修繕了

中路修了

但修繕了

右方修了

一 土中修繕了

土中修繕了

一 土中修繕了

中路修了

一 土中修繕了

中路修了

一 土中修繕了

中路修了

一 土中修繕了

中路修了

一 土中修繕了

中路修了

一 土中修繕了

中路修了

一 土中修繕了

土中修繕了

とて成り上り中使馬あふむ
ふりあふむとて成り上り中使馬あふむ
とて成り上り中使馬あふむ

一市子方工三及市定行市定格三

市草履取

一市子方工三及市定行市定格三

一市子方工三及市定行市定格三

一市子方工三及市定行市定格三

一市子方工三及市定行市定格三

一市子方工三及市定行市定格三

一市子方工三及市定行市定格三

一市子方工三及市定行市定格三

市廻些辰

一市子方工三及市定行市定格三

一市子方工三及市定行市定格三

一市子方工三及市定行市定格三

一市子方工三及市定行市定格三

一市子方工三及市定行市定格三

一市子方工三及市定行市定格三

市廻些辰

一市子方工三及市定行市定格三

一市子方工三及市定行市定格三

一市子方工三及市定行市定格三

古史考索

大正修之
尚侯

一上乃中結了而後復上

市區與市外

而臨余者

苦乃此

以爲爲和氣

名跡

大正區志

古之所謂

上乃中姓了 五座營沙大極殿了

餌刺 所統之者

而水主

苦力站

市吏有如此

五

大里路旁
本質多後陳

方有良性了
管街

一上乃中佳馬也。其行步如飛。

而七役西野人

李

五言古詩

一 出百九拾文

大工路 上及中

一 七拾九文

大工路 上及中

一 上及中 往馬場 往馬場 往馬場

中表方中使

一 七拾九文

大工路

一 七拾九文

大工路

一 七拾九文

大工路

一 七拾九文

大工路

一 上及中 往馬場 往馬場 往馬場

市仕立師

一 七拾九文

大工路

一 七拾九文

大工路

一 七拾九文

大工路

一 七拾九文

大工路

一 七拾九文

大工路

一 上及中 往馬場 往馬場 往馬場

中馬 西及中

一 七拾九文

大工路

一 七拾九文

大工路

一 七拾九文

大工路

目録
一 武内宿禰

一 四ノ宮

一 上ノ宮

目録

一 百ノ宮

一 八ノ宮

一 六ノ宮

一 上ノ宮

一 江戸

大正十一年

大正十一年

大正十一年

大正十一年

大正十一年

地中馬六立碑

一 三ノ宮

一 二ノ宮

一 一ノ宮

一 目録

一 三ノ宮

一 上ノ宮

大正十一年

大正十一年

大正十一年

大正十一年

大正十一年

市路地方志

一松平のりき 其方此

一松平のりき 此方此

一松平のりき 此方此

一松平のりき 此方此

一松平のりき 此方此

一松平のりき 此方此

嘉永元申九月豊前屋、其方此

其方此

●市創足輕人勅書印擬

作凡見此調

一松平のりき 一松平のりき

一松平のりき 津領此方此

一松平のりき 此方此

一松平のりき 大里路東海道

一松平のりき 大里路東海道

一松平のりき 東海道此方此

一松平のりき 此方此

一松平のりき 此方此

但采平九升之茶代之松平此方此

一松平のりき 此方此

右目録 地後所定行言

一松平のりき 此方此

一、三石六斗七升五合

一、三石六斗七升五合

但一日美人如名あり二百五十日分

一、三石六斗七升五合

送用夫所

師先子足輕人勅書師
擬化見見之補

一、三石六斗七升五合

市口寺持命
法師江戶

一、三石六斗七升五合

寺口寺持命

一、三石六斗七升五合

寺口寺持命

一、三石六斗七升五合

東海道徳島
貨古江戶

一、三石六斗七升五合

寺口寺持命

一、三石六斗七升五合

寺口寺持命

一、三石六斗七升五合

寺口寺持命

但米寺名寺年寺代寺口寺持命

一、三石六斗七升五合

寺口寺持命

外

一、三石六斗七升五合

寺口寺持命

但三人寺名寺代寺口寺持命

右月江地海而完行高

一、三石六斗七升五合

一、三石六斗七升五合

一、三石六斗七升五合

但内能寺名寺年寺代寺口寺持命

一、三石六斗七升五合

寺口寺持命

但一日老人立於南門三石寺中

有女個一居市南定所亦多於左
通平里輕小例所生多矣

市側多輕但老人

一限上抄目

但詳外法

一日三教七小中下

但所生多於下抄

一限三教七小中下

但所生多於下抄

一日三教七小中下

但所生多於下抄

一限三教七小中下

但所生多於下抄

市先多輕但老人

一銀三教七小中下

但所生多於下抄

一日三教七小中下

但詳外法

一限三教七小中下

但所生多於下抄

一日三教七小中下

但所生多於下抄

一限三教七小中下

但所生多於下抄

市先多輕但老人

●文政三辰三月六日予陽七を南より
海へ遊ぶ

藤三郎の所行は予が江戸市街に
在りて其の家行するところを
其の凡そ来るに至る小所へ
而家行金より其の地味の中
三人扶持代金より其の海内
外へ其の家行するところ
千之程より其の地味の中
右の扶持のつれより其の地
味より其の家行するところ
一のりる

但入つた千之より其の地味

川城至五津修河川田へ入る
元二月三日方より河津橋方
入河津村方より河津橋方

一古実河津橋方より河津橋方
新千之五河津橋方より河津橋方

一松島河津橋方より河津橋方
極る河津橋方

一久改三年三月方より河津橋方
河津橋方より河津橋方

河津橋方より河津橋方
河津橋方より河津橋方

河津橋方より河津橋方
河津橋方より河津橋方
河津橋方より河津橋方
河津橋方より河津橋方
河津橋方より河津橋方
河津橋方より河津橋方
河津橋方より河津橋方
河津橋方より河津橋方
河津橋方より河津橋方
河津橋方より河津橋方

一第二河津橋方より河津橋方
文化十廿五日正月
文化十廿五日正月
文化十廿五日正月
三月廿五日正月

河津橋方より河津橋方
河津橋方より河津橋方

● 添役方分海分

一 同目迄

和申と云職事平

和申甘と云職事平
系和申甘と云職事
少申下目付

一 同目迄迄

左目付

和申甘と云職事平

一 同目迄迄迄

左目付

和申甘と云職事平

一 同目迄迄迄迄

左目付

和申甘と云職事平

一 同目迄迄迄迄迄

左目付

和申甘と云職事平

一 同目迄迄迄迄迄迄

左目付

和申甘と云職事平

一 同目迄

左目付

和申甘と云職事平

● 上下控七人持持

同職中

ありしに、所居り月外見、指し手
指し候、其用の五節、其文

一江戸定所、所居り、所居り、所居り、
下銀、所居り、所居り、所居り、
所居り、所居り、所居り、

文化十世、其、村、所居り、所居り、
所居り、所居り、所居り、

同、所居り、所居り、所居り、
所居り、所居り、所居り、
所居り、所居り、所居り、
所居り、所居り、所居り、

一、所居り、所居り、所居り、
所居り、所居り、所居り、

所居り、所居り、所居り、
所居り、所居り、所居り、
所居り、所居り、所居り、
所居り、所居り、所居り、

文化十世二月四日

一、所居り、所居り、所居り、
所居り、所居り、所居り、

一、所居り、所居り、所居り、
所居り、所居り、所居り、

二、所居り、所居り、所居り、
所居り、所居り、所居り、

文化十世二月四日

一、所居り、所居り、所居り、
所居り、所居り、所居り、

張俊安書

一 汝等亦中近行、甘くも、中候、
 中前年、中前、中後、中、
 目未、中、中、中、
 中、中、中、中、
 中、中、中、中、
 中、中、中、中、
 中、中、中、中、
 中、中、中、中、

一 汝等亦中近行、甘くも、中候、
 中前年、中前、中後、中、
 目未、中、中、中、
 中、中、中、中、
 中、中、中、中、
 中、中、中、中、
 中、中、中、中、
 中、中、中、中、

一 汝等亦中近行、甘くも、中候、
 中前年、中前、中後、中、
 目未、中、中、中、
 中、中、中、中、
 中、中、中、中、
 中、中、中、中、
 中、中、中、中、
 中、中、中、中、

一 汝等亦中近行、甘くも、中候、
 中前年、中前、中後、中、
 目未、中、中、中、
 中、中、中、中、
 中、中、中、中、
 中、中、中、中、
 中、中、中、中、
 中、中、中、中、

一 汝等亦中近行、甘くも、中候、
 中前年、中前、中後、中、
 目未、中、中、中、
 中、中、中、中、
 中、中、中、中、
 中、中、中、中、
 中、中、中、中、
 中、中、中、中、

一 汝等亦中近行、甘くも、中候、
 中前年、中前、中後、中、
 目未、中、中、中、
 中、中、中、中、
 中、中、中、中、
 中、中、中、中、
 中、中、中、中、
 中、中、中、中、

年分増と減の帳を七月に収めて出さる

年分増と減の帳を

一 内國の年分は江戸に出る月迄月
数十一ヶ月を年分とする

一 七月十二月以上十月二ヶ月を年分とする

一 七月十九月以上二十九ヶ月を年分とする

一 七月三十月以上三十九ヶ月を年分とする

一 七月四ヶ月以上四十六ヶ月を年分とする

一 七月四十九月以上五十七ヶ月を年分とする

一 村に於ける年分は、南に月を
定めて、年分とする

一 村に於ける年分は、寛政十年十一月迄
出さる年分は四月江戸に出る三ヶ月

江戸年分は、帳簿を

一 寛政二成二二月江戸に出る三ヶ月

江戸に出る三ヶ月江戸に出る三ヶ月
江戸

寛政三亥年八月江戸に出る三ヶ月正
月江戸に出る三ヶ月

右の通り江戸の年分は、物産

増減の帳簿を、寛政二成二二月江戸

に出る三ヶ月江戸に出る三ヶ月

江戸に出る三ヶ月江戸に出る三ヶ月

寛政三亥年八月江戸に出る三ヶ月

江戸に出る三ヶ月江戸に出る三ヶ月

寛政三亥年八月江戸に出る三ヶ月

江戸に出る三ヶ月江戸に出る三ヶ月

中上月與三希云云至正月
表出立七ヶ月法云云至五年
旅伝云云至五年法云云至五年
法云云至五年法云云至五年
法云云至五年法云云至五年

中五年法云云至五年法云云
法云云至五年法云云至五年

一寛政五年に於て江戸より
而して其の法云云至五年
月云云満月云云刻云云至五年
将九斗云云十一月以上法云云
法云云至五年法云云至五年
中月云云法云云至五年法云云

十五ヶ月刻云云至五年法云云
法云云至五年法云云至五年

一十月法云云至五年法云云
一十月法云云至五年法云云
一九ヶ月法云云至五年法云云
一八ヶ月法云云至五年法云云
一七ヶ月法云云至五年法云云
一六ヶ月法云云至五年法云云
一五ヶ月法云云至五年法云云
一五ヶ月法云云至五年法云云
一市付五斗法云云至五年法云云
一市付五斗法云云至五年法云云
一十月九ヶ月法云云至五年法云云

書年一りある代法あり候
極も可成り高き口候

及中世時より迄件一重に
以後代法候

一法候方より安あられ候
極も可成り高き口候
以後は月斗よりある一
法あり候

一書年六月迄の出立
前年分候分より出立
大後分増え候分より
川南高き金より
分候分より同分より

一書年六月迄

一七月より十月迄の出立
前年分候分より出立
大後分増え候分より
川南高き金より
分候分より同分より

但書年一りある代法あり候
極も可成り高き口候
及中世時より迄件一重に
以後代法候
一法候方より安あられ候
極も可成り高き口候
以後は月斗よりある一
法あり候

●路銀山勘定所定書に候
二月

十番より有信ふに 作付を月々
三番ほどに在旅用及多量種多
く中少くとも一に大表と
其残りも千五百に在る法事
より後未増さるる海を勿論
か而も不減及く因に於る
法一に尤少所一而に上未
作付を月々後未増さるる
番、越に大表、万四千に別
旅用及多量種多、作付
左に越に大表、
文化十二

十一月廿九日

佛融當三十二人扶持
諸頭

一銀三万八千目
但二法市三法市に由生多
言に生立多

百石

一回三万三千百石目
但右目所

一百石石() 四百九石石() 百石
拾石() 拾石() 拾石() 拾石()
拾石() 拾石() 拾石() 拾石()

一既役二百石石() 四百九石石() 百石
拾石() 拾石() 拾石() 拾石()
拾石() 拾石() 拾石() 拾石()

諸君より、お礼を申す。お礼を申す。お礼を申す。
一、中々、怪しき所、佳し、以て、用ゐる、人、見、得、三、
お、後、名、を、下、へ、向、て、何、れ、を、主、張、す、る、
同、じ、く、お、振、舞、う、お、悔、を、申、出、す、
前、申、す、に、お、申、出、す、お、悔、を、申、出、す、

お、融、合、を、主、張、五、人、お、申、出、す、
お、納、入、お、使、番、お、怪、大、怪、
一、主、張、お、申、出、す、お、悔、
但、一、法、は、主、張、を、お、申、出、す、お、悔、
お、申、出、す、お、悔、を、申、出、す、

百、五、石

一、なる、お、申、出、す、
お、申、出、す、
銀

二、百、五、石、お、申、出、す、お、悔、を、申、出、す、
お、申、出、す、お、悔、を、申、出、す、
お、申、出、す、お、悔、を、申、出、す、
お、申、出、す、お、悔、を、申、出、す、

お、納、入、お、使、番、お、怪、大、怪、
お、申、出、す、お、悔、を、申、出、す、

一、三、百、五、石、
お、申、出、す、お、悔、を、申、出、す、
一、百、五、石、
お、申、出、す、お、悔、を、申、出、す、
一、百、五、石、
お、申、出、す、お、悔、を、申、出、す、
お、申、出、す、お、悔、を、申、出、す、

一 取役に上りて而して其の半を以て
而して 作身言ふ中國路等
義夫四人と其の海をたてて
海に過馬と云ふ

一 京大坂諸の如く各處に出張する
銀江戸法金通上、法金と云ふ
減と云ふ後、
但し其の半を以て其の半を以て
する

江戸法金

一 銀金目 中性
但し其の法金と云ふは其の法金

一 銀百兩目 市信目金
但し其の法金と云ふは其の法金

少額を以て法金と云ふは其の法金
其の法金と云ふは其の法金

右目初法金

中性

一 銀二兩目
但し其の法金

市信目金

一 銀一兩目
但し其の法金

市信目金

右目初法金と云ふは其の法金
其の法金と云ふは其の法金

右目初法金と云ふは其の法金
其の法金と云ふは其の法金

銀金目

市信目金

市信目金

一 市信目金
但し其の法金

市信目金

としは三波村ありとありし
しるしありありとありし
化十三三年三月廿七日
すきとありありとありし

一、今午三月廿七日、百五十八
下、中村村ありありとありし
今午日候

一、今午三月廿七日、百五十八
中、中村村ありありとありし
今午日候

一、今午三月廿七日、百五十八
中、中村村ありありとありし
今午日候

一、今午三月廿七日、百五十八
中、中村村ありありとありし
今午日候

一、今午三月廿七日、百五十八
中、中村村ありありとありし
今午日候

一、今午三月廿七日、百五十八
中、中村村ありありとありし
今午日候

一、今午三月廿七日、百五十八
中、中村村ありありとありし
今午日候

一、今午三月廿七日、百五十八
中、中村村ありありとありし
今午日候

一、今午三月廿七日、百五十八
中、中村村ありありとありし
今午日候

坊主家よりあるものなり
定はれ已に下りあり
法をまねて下りあり
外に中々あり
寺あり
寺あり

寺あり
寺あり

一 寺あり
寺あり
寺あり
寺あり

寺あり

寺あり

一 寺あり
寺あり
寺あり
寺あり

寺あり
寺あり
寺あり
寺あり

寺あり
寺あり
寺あり
寺あり

目録

月入るる法... 十二月... 日... 切...

一... 宗八... 席... 乃... 通...

五...

市...

日...

用...

...

...

一... 来...

...

...

...

...

同四巳所被使未
初該年諸事多矣五
石目

本社ハ主

同七四月先年立
降多哉前年也
松多寺寺依家
三多月

渡瀬得此

同八不八月礼儀
初該年諸事多矣五
石目

多子送海物

同九多右口所
同

同多能多

同十二世古口所
同

同村内通

文化千四百十二月
京府所供物入
多子送海物

村上西希在

公政之宮生教宗
初該年諸事多矣五
石目

吉田君校

一天保二年三月渡色内給所中
熱名代所校所中府之寺所家乃
外之寺之寺所校所中

三多月五石目

出振書

但福所之寺四月も訪所
多子送海物

多子送海物

用公法

四多月五石目

一同多月五石目
初該年諸事多矣五
石目

法教出古海、創を以て其の意を
及らざるを以て其の意を以て

一師生を以て其の意を以て其の意を以て

一七、七月、麻里、其の意を以て其の意を以て

一七、其の意を以て其の意を以て

七月、其の意を以て其の意を以て其の意を以て
其の意を以て其の意を以て其の意を以て
其の意を以て其の意を以て其の意を以て
其の意を以て其の意を以て其の意を以て

一七、其の意を以て其の意を以て

右、其の意を以て其の意を以て其の意を以て
其の意を以て其の意を以て其の意を以て
其の意を以て其の意を以て其の意を以て
其の意を以て其の意を以て其の意を以て

其の意を以て其の意を以て其の意を以て

其の意を以て其の意を以て

其の意を以て其の意を以て其の意を以て

● 船帆數並修正

自今應依本條 作為便淺
おしよふおしよふ

四月十一日迄

一四五帆	百目
一五五帆	百拾目
一六五帆	百二十目
一七五帆	百四十目
一八五帆	百六十目
一九五帆	百八十目
一十五帆	二百目
一十五帆	二百二十目
一十五帆	二百四十目
一十五帆	二百六十目
一十三五帆	二百八十目

五、白、同。

十二月分三月上

百步月

百世同

普同

此亦同

以爲五折

以爲我

之方，

三九扣

吳平書

四六

土

三

三男三子

生一

1

土の産

八

以爲

あふやう

10

三

卷一

一七五帆

平帆

一六五帆

市船は使役
六便帆

一九五帆

既設中

一七五帆

市用八番

但書此は付録五枚あり
振込遠く付録五枚あり
并積込例多しあり

一七五帆

市家老中

右様式に定積する方々

一七五帆は上下且屋人等
右様式に定積する方々
定積する方々
右様式に定積する方々
右様式に定積する方々

積る物も押さる帆、積る物も
しるる、積る物も押さる帆、積る物も

右様式に定積する方々
右様式に定積する方々
右様式に定積する方々
右様式に定積する方々
右様式に定積する方々

一七五帆は上下且屋人等

右様式に定積する方々

右様式に定積する方々

一七五帆は上下且屋人等
右様式に定積する方々
右様式に定積する方々
右様式に定積する方々
右様式に定積する方々

中より米をとりて船に積みおぼ
存し外は家中又よりのきり
後を越

●市廻米白米割

一市廻米 八分

一白米 七分

俵令に二箱立方し而免さるる方
した豆ちりりきり二千万米之
以内廿四万市廻米六万白米之

●年、復秋大豆出產する年、
ゆえに

丑年、

一七、万四千八百九十九俵

夏大豆

一三、万九千七百三十九俵

秋大豆

一四、万四千四百三十九俵

日年

一四、万七千三百三十九俵

（三、万九千七百三十九俵）
秋大豆

寅年

一七、万五千二百九十九俵

夏大豆

一三、万六千三百三十九俵

秋大豆

一四、万四千六百三十九俵

日年

一四、万四千七百三十九俵

（三、万九千七百三十九俵）
秋大豆

卯年

一七、万五千四百九十九俵

夏大豆

一三、万七千七百三十九俵

秋大豆

一四、万六千七百三十九俵

日年

一四、万七千七百三十九俵

（三、万九千七百三十九俵）
秋大豆

辰年

正年

五万四千四百四拾四石斗

七斗

●御領中地方高

一山口高

貳拾二万八千八百四十六石斗一升

新田貳万三千六百七十七石二斗八升

一本高

貳拾八万六千四百七十七石六斗九升一合

出目開四万七千九百六十一石一斗三升

一御内檢高

三拾貳万八千六百八十九石五斗

開三万五千四百七十三石二斗

一役高

正徳四年以来年々出產之現
御物成石三二四掛割賦

筋三取扱フ之

一春免高

寛政四子年ノ高三十一万三千四百三拾八石ヲ用ヒテ村方割賦ノ目安トスル之

一春免役高

現ノ有収ノ斗代石三ニ四カケテ是ヲ春免役高ト云フテ此高ニテ割賦スル之尤當時ノ法也
以上六品

右享和年間島田隆重記スル所ノ書ヲ按ザルニテ算系考ニリ
島田隆輝拜

● 仰領中裁米五石ノ御西三月廿七日列取大座屋出米書付寄

十上石

一凡々格主方儀

申付物座之邑米

凡々格主方儀
出格七万七千五百俵市物成凡々、
出格七千四百格儀 並門代米方
出格九万九千九百格儀

残

三格主方九格

五石

凡々五石

去年十一月廿二日申越而人
ノ格主方四千格人一日主ノ
凡々三石五石以格主方
九月十月兩月申越而人
格主方五石五石

九千四百五拾四

馬形中牛馬五万延五口所

四万五千儀

馬形中送酒九儀

六千儀

去九月分十二月中内城下

入米九千

九千六百

日田及赤口所後分秋分川口

分所藏納、お蔵あさ

七万部子七万部

當残

七万七千三百八拾

一凡四万儀

但此下山中、皆換口所村九

換ヶ村、引強、上、通村、其、概、
難敷、九、又、三、

七万七千三百八拾

但此方、換、二、七、万、四、千、也、換、人、

牛、九、七、万、七、千、三、百、八、拾、

二、七、万、七、千、三、百、八、拾、

九、百、六、十、分、中、月、分、四、月、分、

角、取、後、二、千、又、三、

一、四、万、儀

馬形中田畑、換、九、万、七、千、三、百、八、拾、

此、多、下、換、口、所、村、九、

出、米、四、千、三、百、八、拾、

九、千、五、百、八、拾、

九、千、五、百、八、拾、

九、千、五、百、八、拾、

九、千、五、百、八、拾、

九、千、五、百、八、拾、

九、千、五、百、八、拾、

九、千、五、百、八、拾、

九、千、五、百、八、拾、

九、千、五、百、八、拾、

九、千、五、百、八、拾、

九、千、五、百、八、拾、

九、千、五、百、八、拾、

江戸
増
田
石
大

江戸
増
田
石
大
久

申
二月十五日
下
付
氏
氏

足

一
五
方
六
千
五
百
五
十
所

田
敷
代
金

五
千
所

辛
子
早
稻
取

五
方
千
五
百
五
十
所

三
拾
四
方
六
千
五
百
五
十
所
修
工
多
少
之
不
詳
也

一
七
千
八
百
七
拾
所

畑
方
代
金

四
五
千
五
百
所

辛
子
取

五
千
三
百
七
拾
所

麦
取

五
千
三
百
七
拾
所
修
工
多
少
之
不
詳
也

二
千
所

麦

六
千
五
百
五
十
所

一
七
千
八
百
七
拾
所

畑
方
代
金

門

五
千
所

大
豆
取

五
千
三
百
七
拾
所

西
米
取

五
千
三
百
七
拾
所
修
工
多
少
之
不
詳
也

一五〇石

一日主人等共
合為拾萬八千石

五月份十二月迄今月迄
拾萬石

俵並し
四拾萬石百五拾俵

一三〇四拾石

一日主人等共
合為六萬八千石

十月迄十二月迄三月迄
三萬六千石

俵並し
五萬八千石

一六五萬五千石

四

春元等共

四拾萬石百五拾俵

稻米三萬

五萬石百五拾俵

味噌仕込

三萬七千三拾石

一日迄十二月迄
五萬三千五百石
八月份迄

五萬石百五拾俵

味噌仕込

五萬石百五拾俵

味噌仕込

四萬九千三百八拾石

四

拾萬石百五拾俵

申月迄

一五拾九萬三千五百石

四

粟凡山等共

五萬石百五拾俵

稻米三萬

四

拾萬石百五拾俵

申月迄

一七拾萬俵

四

五萬石

一日迄十二月迄
五萬石百五拾俵
八月份迄

出米秋迄上御
外儀下所迄
四萬石

五万四千五百

个去榮老送陽涉系三四
萬七千

人
得
病
在
身

表出

考

三

之

9

抄女房 主 人 子 子

五方種

卷六

客所之生

仙臺乃月之仙臺

四

產

此土名曰方家

万俟

力身4

15

八万俵余
出產年一上初
初俵了

出產年一上初
出產了

出產年一上初
出產了

出產年一上初
出產了

出產年一上初
出產了

出產年一上初
出產了

出產年一上初
出產了

出產年一上初
出產了

出產年一上初
出產了

出產年一上初
出產了

出產年一上初
出產了

出產年一上初
出產了

出產年一上初
出產了

出產年一上初
出產了

出產年一上初
出產了

出產年一上初
出產了

出產年一上初
出產了

出產年一上初
出產了

朱子

朱子

朱子

朱子

朱子

朱子

朱子

朱子

朱子

朱子

申
正月ヨリ西月中旬迄作事迄
師領中 彰義寺

一百九万四千二百俵
不代中村寺
寺田寺
寺田

一四万三千七百四拾六
寺田寺
寺田

一十五百
柳生寺
寺田寺
寺田寺

一五万三千五百拾六
寺田寺
寺田寺

一五万三千七百拾六
寺田寺
寺田寺

一五万
寺田寺
寺田寺

一五万俵
申領物成上初大
寺田寺

一七千俵
寺田寺
寺田寺

百拾六万七千四百二拾六
寺田寺
寺田寺

寺田寺
寺田寺
寺田寺

四千七百七拾六
寺田寺
寺田寺

寺田寺
寺田寺
寺田寺

四百
寺田寺
寺田寺

四百

申中地米分

此方二十九百五拾五

造得得米

但ふ氏を降方年一はる備

九千八百俵

味崎宮は本

但る降方年一はる備
の年八十四と一と一と一の
造いけと立

五万二千百字

馬場町中

但る降方年一はる備
年八一日之金ある一と一と一の

廿七万七千三百七拾五

五万

八千九百四十七百七拾五

五万俵

但ふ氏を降方年一はる備

△いけと
あけ

合

九千四百四十七百七拾五

六市用米

すきるた

ちる降方年一はる備

ちる降方年一はる備

ちる降方年一はる備

ちる降方年一はる備

ちる降方年一はる備

ちる降方年一はる備

ちる降方年一はる備

ちる降方年一はる備

ちる降方年一はる備

ちる降方年一はる備

一三格三万四千依
百四万九千

酒夏麦出產

三格万加

申年西物必並細

五千金

山城下入

五万三千加

酒法三万三千加の内卦
万加上初米因日経

五万依

浦達申年西物細

一三格三万八千依

七格五万四千依

左他ノ子格分人内三万千人

初サリ格格分人内三万千人

申十月酒八月中三百日一

百五千人之者格分人内三万千人

什成
在地家三万五千加一
知少三万四千加一
内格三万四千加一

酉二月

在方申十月酉八月半迄日数
三百日之者格分人内三万千人
但申十月迄未年一初末者

一六格五万依

申年西物必並細

一四万依

酒法三万三千加の内卦

一四格万依

酒法三万三千加の内卦

什成

△法中

五万五千加

内

五千町

農地地下
切子堀

四千町

三子根分堀

ノ九千町

川崎

三万六千町

三子根分堀
一子根分堀
一子根分堀

百五万倍

妙積五万九千九百倍

申秋出物年々増加未上約

妙万四千五百五拾五倍

納通五万五千倍云目田延解

多為四千八百元才申上二月

六千倍

山城下入

四万五千倍

在方酒造本

ノ三粒七万五千四百倍

川崎

六粒七万七千八百倍

是ラ在地人ノ粒七万四千倍

人ノ牛丁了五万五二千倍

合粒一完一百一人一正男

七多四倍二年

甘葛根出上毎年且即國初以外

久留米寺社家男

午十二月

七百三人男

一千四百三拾人

七百二十人女

久留米男

八千六百倍

四千六百男
三千九百二十人女

石井一左衛門組

一、壹万肆千四百拾貳人 男 二、千七百七十八人 男
九千七百七十八人 女

田代義彦組

一、七千七百四十三人 男 四千七百七十八人 男
三千七百七十八人 女

諏訪組

一、九千八百八十五人 男 四千七百七十八人 男
四千七百七十八人 女

廣修組

一、七千七百四十三人 男 四千七百七十八人 男
三千七百七十八人 女

泉組

一、八千九百九十五人 男 四千七百七十八人 男
三千七百七十八人 女

五郎九組